

## 野外コウノトリ200羽に

本市は2005年9月24日に日本で初めて5羽のコウノトリを野外に放鳥しました。

それから14年9カ月が経過し、6月25日、野外に生息するコウノトリが200羽に到達。京丹後市久美浜町市場内の人工巣塔での巣立ちでした。17年6月の100羽到達から、わずか3年での倍増です。繁殖地は全国7府県に広がっています。日本中で、空を舞うコウノトリが普通に見られる日が少しずつ近づいています。

《問合せ》コウノトリ共生課  
☎21-9017



▲2007年7月31日に国内で46年ぶりに野外で巣立ったコウノトリ

## 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」シンポジウムに参加

自然環境が有する多様な機能を賢く利用するグリーンインフラ。その推進のため、多様な主体が幅広く参画・連携する「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」が本年3月19日に設立されました。

6月30日に開催された第1回シンポジウム（インターネットライブ配信）では、コウノトリ共生課長が本市のグリーンインフラの取組みを報告。パネルディスカッションには市長が参加して、これまでの取組みや今後の課題等について議論しました。

《問合せ》コウノトリ共生課  
☎21-9017



▲コウノトリの野生復帰をシンボルにしたまちづくりについて話す中貝市長

# 市政 ニュース

### 〈主な市政の動き〉

#### 〔6月〕

- 12日・教科書展示会（～27日）
- 13日・図書館本館で「男女共同参画週間」に合わせて男女共同参画に関する関連本展示（～7月6日）
- 23日・2020年度第1回豊岡市障害者福祉計画策定推進委員会の開催
- 25日・PLAY豊岡チケット

#### 配布

- ・野外コウノトリ200羽到達

- 29日・EAT豊岡食事券発売開始

- 30日・「豊岡市強靱化地域計画」策定

#### 〔7月〕

- 7日・豊岡市2020年度インドネシア漁業実習生終了証授与式



※掲載している情報は編集時点(7月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

## オンライン移住相談窓口の開設

新型コロナウイルス感染防止のための「新しい生活様式」が示され、都会を離れた地方での生活に関心が高まる中、UIターン希望者向けのオンライン相談窓口を開設しました。

本市では民間の移住相談窓口「暮らしのパーラー」と連携しながら、移住に係る相談全般を受け付けています。また、おすすめ物件を360度カメラで撮影した映像を移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で公開しています。現地に行くことができない状況でも、豊岡での暮らしや、住まい、仕事についての情報をウェブ上で得ることができます。

《問合せ》環境経済課 ☎21-9096



▲現地に来れなくてもオンラインで物件の見学、移住相談ができます。

## 豊岡演劇祭2020の 公式プログラム発表

7月1日、江原河畔劇場で「豊岡演劇祭2020」の記者会見が行われ、海外劇団の招聘中止や客席数減など規模を縮小するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で開催することが発表されました。

本演劇祭は9月9日〜22日を会期として、公式プログラム10団体、フリンジプログラム10団体程度の上演が予定されています。

コロナ禍での開催に踏み切った理由について、フェスティバルディレクターを担う平田オリザさんは「豊岡経済の復興につなげたい。豊岡演劇祭で但馬から芸術復興の灯をともしたい」と語りました。

《問合せ》大交流課 ☎21-9081



▲豊岡の自然、風景がモチーフになった豊岡演劇祭のロゴ

## 中貝市長の徒然日記 ⑬

### 祝・200羽！

「中貝君、200羽だったって？  
すごいなあ」

コウノトリファンクラブ会長の柳生博さんから電話が入りました。「連絡があつて、嬉しくて飲んでるんだけど、君にもお祝いを言いたくて」

6月25日、京丹後市で生まれた幼鳥が巣立ち、日本の野外的コウノトリは200羽になりました。最初の放鳥から15年目の快挙です。これまでに、豊岡市、養父市、朝来市、京丹後市など、国内10市で野外のヒナが誕生しています。

ほくたちがコウノトリの野生復帰をやろうと言いだした頃、100年かけて失ったものを取り戻すには100年かかるだろうと話していました。

今年、日本の野外での絶滅から49年、人工飼育の開始から55年、保護活動が明確な形を取ってから65年になります。ぼくはその65年の後半29年間に関わってきたことになります。

柳生さんとは、1時間以上話が続きました。

「共に野生復帰を進めてきた、亡き増井光子さん(元コウノトリの郷公園園長)と池田啓さん(元同公園研究部長)に知らせたい、と報道機関に市長コメントを出しました」

「柳生博の名前が入っていないじゃないか」

「だって、柳生さん、生きていないじゃないですか」

「あ、そうか」

コウノトリ育む農法のお米は、コロナ騒動の中でもアメリカ、香港など6つの国・地域への輸出が進んでいます。

イスラエルでは、豊岡の野生復帰を扱ったドキュメンタリー映画「KOUNTORI」のアラビア語訳とフランス語訳が進んでいます。本編は英語と日本語です。

あ、そうそう。経済の専門誌「週刊ダイヤモンド」3月21日号で、JAたじまが「農家が選ぶJA支持率ランキング」で、全国第1位を獲得しました。豊岡市は「農業振興が評価された市町村」の第2位でした。これらもコウノトリがもたらしたものでした。